

今号のラインナップ：「光復節 65 周年在日韓国人集会」報告 / 盟員の声「第 17 回統一マダン東京に参加して、継続する旅券発給への不当弾圧」 / 活動報告 / 情勢 NEWS / 支部紹介「日々是はんちゃんー東京本部葛飾支部」 / 今後の予定 / 編集後記

各地で光復節 65 周年在日韓国人集会開催！



光復節を迎え、「光復節 65 周年—韓米の軍事緊張激化政策に反対し、自主・平和・統一を実現しよう！在日韓国人地域集会」を各地で開催し、青年学生をはじめ、多くの在日同胞が集いました。8月14日には広島、8月15日には東京、愛知、大阪の3地域で、22日には神奈川で開催しました。

15日に開かれた東京での集会では梁炳龍・韓統連東京代表委員の主催者あいさつ、現在の韓国併合から現在までの歴史と現情勢をまとめた映像資料の上映に続き、孫議長が「朝鮮半島情勢と韓青結成 50 周年の意義」と題して講演されました。孫議長は、大規模な軍事演習など韓米の緊張激化政策を厳しく批判し、また韓青結成 50 周年の意義として、「何の後ろ盾もない韓青が、各自の自主性と主体性によって力強い運動を展開し、多くの運動の進展や成果を勝ち取ってきた」とし、「この自主性と主体性こそが韓青 50 年の大きな財産」だと強調されながら、韓青に対する熱い激励を送ってくださいまし

た。同日、開かれた関西地域集会や中部地域集会においても、「朝鮮半島情勢と私たちの課題—韓青結成 50 周年記念事業の成功に向けて」と題して講演を行いました。

各集会では参加者から決意表明が行われたあと、①韓米日による軍事演習と戦争策動の中止②「天安号」沈没事態の真相究明③公安弾圧の中止と韓忠穆・韓国進歩連帯共同代表の釈放④反李明博闘争の展開⑤韓青 50 周年事業の成功—の共同決議文が採択されました。

またピョンヤンを訪問し、板門店を通過して韓国に帰還した韓相烈牧師への孫議長の連帯メッセージの紹介や、李明博政権の公安弾圧で拘束されている韓忠穆・韓国進歩連帯共同代表への激励寄せ書きが行われました。

集会後には各地方で交流会が行われ韓青や韓統連の先輩方、OB・OGの方々が参加し、集会の成果と韓青 50 周年行事の成功を誓い合いました。

光復節 65 周年を迎えた現在でも、祖国の情勢は厳しく、李明博政権によって多くの統一人士や団体が弾圧されています。もちろん韓統連、韓青に対する不当な処遇も続いたままです。このような状況を私たちは一刻も早く打破し、祖国統一を勝ち取らねばなりません。今回の集会を更なる運動発展の基点とし、結成 50 周年を迎えた私たちは、自主・民主・統一運動の先鋒隊として、祖国統一をこの手に勝ち取るその日まで全力でまい進していきます。

SummerCamp2010

韓青全国夏期講習会報告



私たち韓青では去る7月30日から8月1日にかけて「サマーキャンプ2010」（第44回韓青全国夏期講習会）を愛知県知多半島で開催しました。「韓青結成50年！祖国とともに！民族とともに！」という主題で開かれた今回の夏期講習会には、全国各地から多くの同胞青年が参加し、真夏の太陽が降り注ぐ中、青い海と空の下で民族文化に触れ、同胞どうしで語り合う充実した3日間を過ごしました。

映画『告白』オマージュのオープニング映像がドッカーンと緊張を吹き飛ばした開会式、思わず踊りたくなる京都府本部のノレ指導で始まった今回の講習会。浜辺でのレクリエーションや班別での交流で一気に参加者の距離は近づいていきました。そして1日目のメインイベント、姜春根・韓統連副議長による全体特別講演です。熱い、熱すぎる講演でした。祖国統一の必要性、民族、統一への思いを実践していくことを情熱的に訴える内容を受けて、世代を超えても変わらない民族への情熱と、変えていかなければならない現状に対する認識を共有しました。



2日目はグループ別のプログラムで、新規参加者が中心のAグループで白康喜・三重県本部委員長が「ボクがボクであるために！民族的に生きよう！」というテーマで講演し、幹部が中心のBグループは金承民・組織部長の発題をもとにグループワークと討論を行いました。どちらのグループも50周年を迎える韓青が描く在日同胞青年の生き方や社会の未来像について、「本当に民族的に生きるためには」というテーマについて、班別ディスカッションを行い、答を求めていきました。深夜、朝まで討論という姿もちらほらで、同胞青年の未来はやはり韓青にありということを実感する、そんな時間でした。

メインの韓青文化マダンでは、「韓国併合100年」など2010年の契機性を活かして、東京（総合芸術）、神奈川（民謡）、愛知（プクチュム）、三重（サムルノリ）、京都（アンサンブル）、大阪（ブンムル）、兵庫（プチュチュム）など各本部が創意工夫や情熱あふれる文化発表を披露し、大きな感動と民族文化の素晴らしさを共有しました。また全国腕相撲NO.1決定戦や、民族的に生きることや朝鮮半島をめぐる情勢などを表現した班別の寸劇が披露、汗だくを超えた汗だく状態での群舞など、最高の民族的な盛り上がりでした。

閉会式では多くの参加者から「今回の夏期講習会を契機に本名で生きていきます」「在日同胞として本当の自由を勝ち取るために、民族的に生きていきます」という力強い感想、具体的な意見表明があり、参加した各自が民族的に生きるために何かをつかめた講習会であったと確認できました。最後に「今あったような決意の個人を、孤独な闘いとさせてはいけません。韓青が50年積み重ねてきた闘いの歴史、これからの在日同胞社会や祖国の未来をつなぐのは、現在を生きる同胞青年である私たちが。今日の決意を明日の実践にして、12月5日の50周年行事で再会しよう！」という文世賢委員長の力強い閉会あいさつで、講習会は幕を閉じました。



活動紹介



第17回統一マダン東京



9月5日(日)「第17回統一マダン東京」を開催しました。9月にはいり暑さも和らぐと思われていましたが、逆に真夏を上回るような暑さでした、韓青関東地協によるプンムルから始まりました。出演者も参加者も汗だくになりつつも、次第に暑さも忘れ、様々な華麗な舞台に釘付けでした。

なかでも韓青東京本部が「あすじゃ東京」や「東水労青年女性部」とともに披露したアンサンブルには多くの歓声が響きわたりました。このアンサンブルでは「朝鮮半島の平和統一、平和なアジア、差別

のない社会」をテーマに心を込め企画・準備したものでした。

また、各演目においても「韓国併合100年」「6・15共同宣言発表から10年」をテーマにした演目が発表されていきました。

メインは李政美さんによる、ミニコンサートでした。美しくちからのある歌声が会場に響き渡り参加者らは拍手と歓声で呼応し、熱気は最高潮に達しました。

そして最後の閉会あいさつが終わった後、韓青、学生協のメンバーらは楽器を打ち鳴らして韓国民謡や闘争歌を歌い、会場に集まった人たちとともに群舞を踊りながら、今年も大成功の統一マダンの幕を閉じました。

ハナマダン尼崎

8月29日、尼崎市の橘公園で「ハナマダン尼崎」が開催されました。主催は韓統連兵庫本部、韓青兵庫県本部、総連尼崎東・西支部などの在日同胞や、日本人有志で構成されたハナマダン尼崎実行委員会でした。

「平和を愛し、地域とともに、思いを伝えるみんなのマダン」を主題として、ハナマダン尼崎では、6.15南北共同宣言10周年を記念し、今年春から始動していました。地域での宣伝・広報活動、財政活動などを実行委員会の若手メンバーが中心となって熱誠的に展開してきました。

当日は、韓国料理をはじめとした多国籍な屋台と、サムルノリ、民族舞踊などのウリ民族の伝統文化や、中国獅子舞や和太鼓なども加わった、アジアの多彩な民族文化が花開くステージに魅了され、3000人あまりの地域住民が会場に集まり、大盛況となりました。メインゲストであるチャンゴプロ奏者のKYON(高庚範)氏のチャンゴ演奏も大喝采を浴びて、最後は会場全員で「ウリエソウォン」を合唱し、平和と統一の願いを込めたマダンは幕を閉じました。



炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ~飛揚鳥~
〒108-0014 港区芝5-22-6 TEL 03-3453-2383
☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください
(各階40名様まで)

焼肉 晚 翠

ばんすい
〒108-0014 東京都港区芝5-23-10
TEL&FAX 3452-0061



「第17回統一マダンに参加して そして本常委への決意！！」

東京本部 チェ・スンチェ

2010年9月5日、第17回統一マダン東京に参加しました。

東京に来てから3回目の統一マダン、今年も長い一日が始まりました。

当日、韓青は朝から毎年恒例であるプンムルの猛特訓や、パレードでの宣伝活動、マダンに向けての準備等で始まる前から疲労感たっぷりでした。

しかし、マダンが始まるとオープニングを韓青のプンムルで飾り、韓青の演目である総合芸術では映像が映らないというハプニングもありましたが、韓青の主張を訴えかけ、他にもいろんな場面で疲労感たっぷりのなか夏の暑さにも負けず(僕はぼろ負けでしたが。。。)、一番韓青が輝いていました。

この日本の地で平和や祖国の統一を訴えかけられる統一マダンを他の団体や日本の方々、韓青の仲間と一緒にたくさんの人の協力のもとに作り上げられたことの意義深さを感じました。

そして、夏の事業が終わってほっとした安堵感と、夏が終わってしまうというちょっとした寂しさで統一マダンは終わっていきました。

2001年に愛知の韓青に参加し始めて、いろんな経験をしていろんなことを学び考え感じ民族というものを教えてもらい、そして話すことや人に想いを伝えるのが苦手で自分の殻の中に閉じこもってしまう性格の自分にたくさんの愛情を与えてもらいました。

2年前に仕事の都合で東京に来ることになって、いろんな不安があるなかで自分を受け入れてもらい、支部常任としても活動することとなりまた違った視点から韓青活動に参加しそれまで以上に多くのことを学び考えることができました。

僕は祖国のことを真剣に考えることができ、自分が何者であるのかということを感じられ、たくさんの愛情を与えてくれた韓青が好きです。

祖国や日本社会での様々な問題に対して自分をもっと出来ることをするために、そしてもっと民族から愛されるために韓青のなかで一步進んで活動をしていくことを考えました。

話すことや人に想いを伝えたりすることが苦手だったり、まだまだ学ばなければならないことはたくさんありますが、これまでたくさんの人に与えてもらったことを今度は自分が伝えていけるように、そして祖国の発展のため、韓青の発展のために小さな力でしかないかもしれませんが、本部常任として活動していくことを決意しました。

韓青に集う仲間と共にこれからさらにこの活動を頑張っていきたいと思います。

☆☆☆☆ 祝 韓青結成 50 周年 ☆☆☆☆

韓青東京本部
OB・OG有志一同

☆☆☆☆ 祝 韓青結成 50 周年 ☆☆☆☆

韓青神奈川県本部
OB・OG有志一同

《継続する旅券発給への不当弾圧！》

先日、旅券申請をした韓青に参加する20代の在日青年に対し、担当領事が韓青からの脱会を強要したうえ、申請した10年旅券を3年旅券にとどめるという不当な弾圧行為が行われました。韓青ではこれを厳しく糾弾する意味を含め、そのときの領事館側の対応内容を掲載します。

8月某日、旅券の更新を駐日韓国領事館に申し出た。申請手続きを一通り済ませたとき、窓口で対応する職員とは違い奥の部屋から身分不明の中年の男性職員に「トゥロガ（入れ）」と、なんら説明もなしに個室に入れと命令され入室した。

個室でその男性が私の韓青での身分や人格に至る部分にまで審問をした。「民主主義社会だから政治のことを考えることも自由だし、どのような組織に所属することも個人の自由である。しかし将来のことを踏まえると選択や考え方をしっかり持つべきだ」というような内容であった。不慣れた韓国語ではこちらの意見を言いづらいと思い、日本語で切り返した。自分が韓国へ行く理由として、自身の将来につながるこのため母国にある学校で学び資格取得や教養を得る考えであることを伝える。また「韓青の幹部」と問われ、「韓青では韓国語を勉強して仲間と飲み会などをしているだけ」と答えた。

「韓青に所属していると、帰国・留学になにか不利なことでもあるのか」と問い返したところ、「韓青は韓統連という組織の一部であり、韓統連は国家保安法の法的根拠により違法団体とされている。あなたがどのような立場であれ違法な組織に入っているのであれば当然なんらかの制限などが生じてくる。法律は存在しており現在もしっかりと機能している。法を守ることはごく当たり前のことだ。旅券の期限を10年と申請しているが、これを許可する法的、公的機関は国家保安法などを踏まえて処分を下すことになる。10年が5年になるかそれ以下になるかは検討した後の結果だ。」

また「どのような思想を持ちどのような行動をするのかは自由ではあるが、組織脱退をすればあなたの将来にも勉強にも、なんの支障もなくなるはずだ。それをできるだけ早いうちに私の方に証明してくれればいい。あなたが悪い人間ではないと信じています。」と言葉は柔らかくも脱退を勧められ、さもないと国家保安法で処分が下されるという意味の恫喝じみた言葉を発した。最終的に脱退の意思がないと伝え、領事館を後にした。

そして3週間後、10年で申請したところ3年のみの期間で更新をすると連絡があった。正直更新さえできればいいと考えてはいたが、いざ結果を知ったときはまったく納得のいかない心境だった。今回は韓国政府関係者の嫌がらせという感触もある。国家保安法を盾にこのような態度や処置をとってくるのも、そのときの政治情勢に関係してくることもなんとなくわかっている。しかし祖国のことを考え、分断状況をなんとかしたい、在日同胞の民族性を守りたいという思いで仲間と出会い、ともに頑張る青年たちにこのような仕打ちをする大人や老人を私は簡単に許すことはできない。改めて、強くそう感じた。

韓国語教室

「ムグンファ」



見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵(私・イ)
080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハンゲルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>



情勢 NEWS

＜和解と緊張の岐路に立つ朝鮮半島＞

～「韓国併合 100 年」の 8 月を迎えて＞

【不誠実な菅談話の発表】

「韓国併合 100 年」を前にした 8 月 10 日、「菅談話」が発表されましたが、しかしその内容は不誠実であると言わざるを得ませんでした。「談話」では「歴史に対して誠実に向きあいたい」としながら、従軍慰安婦のハルモニや強制連行被害者に対する謝罪・補償の言及がまったくありません。ここに触れず「未来志向の日韓関係」をうたうのは本末転倒です。そして何よりこの「菅談話」は、韓国に対する内容で終始し、もう一方の当事者である北朝鮮に対する一切の言及がありません。北朝鮮にも植民地支配の被害者と遺族がいますし、日本政府が返還ではなく「お渡し」とした文化財も南北共通の貴重な文化財です。これでは解放以降、朝鮮半島の分断に積極的に加担してきた日本の朝鮮半島政策を満天下にさらした「談話」といわざるを得ません。また在日同胞の権益についても語られることはありませんでした。

【対北対決姿勢を貫く李明博政権】

この談話に対して李明博政権は、歓迎の意向を示しています。問題点を指摘できないことで、逆に李政権の問題点が明らかになったともいえます。それどころか李政権は「天安号事件」以降、アメリカとともに日本の自衛隊もオズバー参加する中、韓米合同軍事演習を繰り返して、南北の緊張をあおっています。そして 8 月 15 日の光復節の演説では、3 段階統一法案を提案しました。しかし統一法案は 6・15 南北共同宣言で「南の連合制と北のゆるやかな段階での連邦制に共通点があることを認め」、その方向で考えていくことがすでに南北間で合意されています。それにも関わらず 6・15 宣言を支持せず南北対立のまま 3 段階統一法案や統一税を提案し

ても、統一論議が混乱するだけで南北和解は進展しません。

また 6・15 共同宣言発表 10 周年を機に北朝鮮を訪問していた韓相烈（ハン・サンニョル）牧師が、8 月 20 日に板門店を通過して韓国に帰還するや、李政権は国家保安法容疑で拘束・逮捕しました。国内外から絶大な支持を集めた韓牧師の英雄的行動によって、李政権下で時代が 10 年以上後退していることが明らかになりました。



板門店を突破する韓相烈牧師

【対話か？対立か？】

8 月 25 日、カーター元大統領が「国境侵犯で北朝鮮に抑留されている米国人解放」を目的に訪北しました。こうして朝米対話の再開が期待される一方、8 月 30 日には米国が対北追加経済制裁を発表するなど、朝米関係は予断を許さない状況です。

このような緊張状態の打破のため、国内・国外から 6 者協議をはじめとした対話再開を求める声が高まり、それに押されるように 9 月上旬には、韓国政府が大韓赤十字社を通してようやくコメ支援など対北水害支援を決定しました。

韓米日、とりわけ李政権は民衆の声に耳を傾け、6・15 宣言に基づく南北和解へと政策転換をしない限り、決して緊張状態が改善されないことを肝に銘じなければなりません。

日々是はんちゃん 全国支部紹介

Vol.14 東京本部 葛飾支部

全国のみなさま、アンニョンハセヨ？創刊以来恒例のシリーズとなった「日々是はんちゃん」も終盤に入ってきました。今回は、東京本部葛飾支部です。東京の下町「寅さん」や「こち亀」で有名な地域です。大きな密集地はありませんが、多くの同胞が住んでいる地域です。

◇葛飾支部の謎？

葛飾支部は、家の屋根の上に支部があります。来る人、来る人、驚きが隠せないようです。(笑) どんどころに支部があるかみなさん気になりませんか？ ぜひ1度、みなさんそんな支部をのぞいてみたいですね。(笑)

ウリマルは、プサン帰りの講師が標準語で教えているつもりが、つついプサンなまりで会話したり楽しく勉強しています。

支部には、もう1人の講師がいます。その講師は、民族時報をスラスラ読み、スラスラ日本語訳が出来る民族一筋の講師です。その講師たちが2班に分れて毎週水曜日、ウリマルを教えています。

プサンなまりの勉強が出来て、みなさん一石二鳥だともいいませんか？



◇葛飾支部はグルメの宝庫！



頭を使った後はお酒がおいしい(?) ということで交流会を開いています。葛飾は下町ということもあり昔ながらの大衆飲み屋が列をなしています。そこで、酒を飲み交わしながら、活動やプライベートに関して仲間たちと語っています。

PS, 立石の飲食店は、有名処が多く、月1でTV撮影でにぎわっています。(なぎら健壺がよく紹介しています。)

8月には葛飾支部の先輩の家で花火を見てきました。韓国料理をたくさん食べお酒を飲んで、語って「あー楽しかったなあ。」しかも、当日の花火大会は3地域の花火大会がタイミングよく重なっていたので、180度回りを見まわして花火を鑑賞することが出来ました。やっぱり、在日同胞と語るのっていいですね。

葛飾支部の仲間たちは、学生、保育士、星の研究家、おもちゃ屋さんその他諸々、ゆかいな仲間たちが集っています。和気あいあい、民族のすばらしさを感じ、同じ同胞として共に助け合いながら葛飾支部は盛り上がっています。(●^o^●)

ぜひみなさん、東京に来る機会があったら葛飾支部によってください(*。*)



◎ 近畿地協執行委員会体制が出帆



韓青は「韓青近畿地協・執行委員会」を立ち上げました。この執行委員会の委員長には韓青中央の李俊一組織次長が就任し、そのもとに京都府本部・大阪府本部・兵庫県本部の本部常任委員が参画することになりました。各本部の現場活動へ相互支援を強めることで、全国有数の同胞密集地域を抱える近畿地域の活動をいっそう強化するねらいです。9月12日（日）におこなわれた大阪府本部の地方委員会を受けて、正式に発足し、そのレセプションの場でお披露目をおこないました。李俊一執行委員長は「近畿地協こそが韓青全国運動の模範となりうるよ

う、路線を堅持し、組織を強化し、運動を発展させたい」と力強く述べました。

◎ 全国で開催！ 秋期ウリマル教室開講式

地域	開催日程・場所	
東京	11/14（日）	荒川区
神奈川	10/27（水）	本部教室
愛知	11月上旬	本部教室
三重	10/30（土）	本部教室
京都	11/10（水）	各支部教室
大阪	11/8（月）10（水）	各支部教室
兵庫	11/14（日）	各支部教室
広島	11/2（火）	本部教室



韓青では、10代後半～20代の朝鮮半島にルーツを持つ青年を対象に韓国語教室を開催しています。韓国籍や朝鮮籍・日本籍などの国籍は問いません。「朝鮮半島にルーツを持つ方」であれば、だれでも大歓迎です。もちろんダブルの方も大歓迎です。授業は、受講生の実力に合わせてクラス編成をしていますので、初心者から経験者まで安心！アットホームな私たちの教室に、参加してみませんか？

全国の韓青ウリマル教室のお問い合わせはこちらへ

0120-734-101（フリーダイヤル）

編・集・後・記



猛暑もだいぶ落ちつき、秋らしい風が吹くようになりました。秋といえば「スポーツの秋」ですね！！私も最近はスポーツ不足でちょっと動いただけで3日後に筋肉痛がやってきます。恐ろしい痛さです。今年の秋は体を動かし、次の日に筋肉痛がくるようにがんばるぞ～！！そして12月5日にむけて・・・(徐)